

自主防災だより

令和5年3月24日発行

令和4年度八戸市総合防災訓練

令和4年9月4日（日）田向・南類家地区（田向中央公園、八戸消防本部・八戸消防署、新井田川水防センター周辺、第一中学校）において、八戸市総合防災訓練が行われました。訓練は、土砂災害警戒情報及び河川氾濫情報が発表されている中、市内では震度6強を観測する地震が発生し、市内各地で多くの建物が倒壊し、火災、土砂崩れが発生したという想定で行われ、地域住民のほか、73の関係機関・団体などから約900名が参加しました。

自主防災組織としては、中居林地区自主防災協議会、春日町地域自主防災会、栄町町内会自主防災会、積善町町内会自主防災会、鍛冶町自主防災会が参加し、避難者の誘導や感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施しました。

なお、次年度の総合防災訓練は、鮫地区において10月1日（日）に実施予定です。



簡易テント等の組立



避難所運営会議



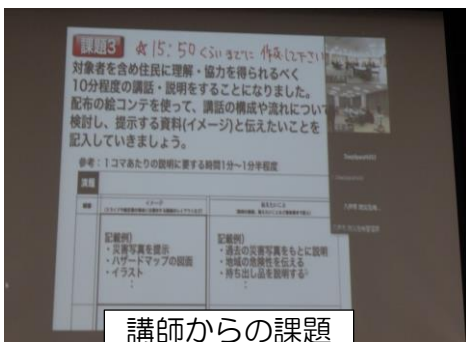
避難所受付の様子

令和4年度八戸市自主防災組織リーダー研修会

令和4年12月3日（土）、八戸消防本部5階防災・教育研修室において、自主防災組織リーダー研修会を行いました。今年度は県主催の地域防災活動ネットワーク研修会にオンライン聴講の形で参加しました。講師は県の防災アドバイザー瀧本浩一氏であり、防災啓発の考え方などについて講演いただきました。



研修会の様子



講師からの課題



グループ会議の様子

「八戸市津波ハザードマップの改訂」

令和3年5月に青森県が公表した新たな津波浸水想定を踏まえて、津波ハザードマップを改訂しました。(令和4年4月28日改訂)

津波ハザードマップは、津波により浸水する範囲及びその水深を表示したもので、日頃から津波災害のおそれのある場所や避難場所などを確認し、災害時の避難行動に役立てていただくことを目的に作成しています。

この津波ハザードマップは、八戸市沿岸に最大クラスの津波をもたらすとされる地震の津波浸水想定に基づき、最も厳しい条件を想定したものです。

改訂に当たっては、水深の表示を「浸水深」から「基準水位」に変更しています。基準水位とは、津波浸水想定の上水に、津波が建物等に衝突した際のせり上がりを加えた水位です。



令和4年度八戸圏域自主防災組織情報交換会

令和5年2月15日(水)、八戸圏域8市町村合同で策定した、国土強靱化地域計画の連携事業として、圏域の自主防災組織の拡充・強化を図ることを目的に、八戸圏域自主防災組織情報交換会を実施しました。この取り組みは今年度からスタートしたものであり、コロナ禍を鑑み少人数での開催といたしましたが、来年度以降も継続し、参加人数を増やして実施できるよう検討しております。今回八戸市からは、多賀台連合町内会自主防災会の菊池会長、江陽地区自主防災会の田邊会長、春日町地域自主防災会の矢幅会長の3名にご出席いただきました。

情報交換会の中では、江陽地区自主防災会の田邊会長に、今年度実施した訓練の様子などを発表していただきました。

令和4年度八戸市自主防災会連絡協議会 理事会・総会

令和4年度の第1回理事会及び総会は、書面会議により開催し、令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画、また東部Cブロックから選出された新たな理事について承認されました。

令和5年2月21日(火)には第2回総会を開催し、役員改選を行い承認されました。その他①令和4年度自主防災組織訓練実施状況②北海道・三陸沖後発地震注意情報③避難行動要支援者に係る協力依頼についての説明を実施しました。

八戸市の自主防災組織について

八戸市内の自主防災組織の団体数は町内会を母体とする組織、女性消防クラブを母体とする組織をあわせて、令和5年3月1日現在で85団体となっています。自主防災組織の活動カバー率(活動範囲の世帯数の割合)は、88.2%(97,148世帯)で、全国84.3%(R4.4.1日現在)及び青森県56.4%(R4.4.1現在)を上回っております。

八戸市では、補助金制度による自主防災組織の支援を行っており、これまでに「自主防災組織育成事業補助金」では49団体が防災資機材を整備、「自主防災組織活動支援助成金」では、今年度19団体が各種防災訓練などの活動経費に補助金を活用しています。

これらの制度を有効に活用しながら、これからも地域の防災力を高めていきましょう。

地域の防災活動

～令和4年度に各地域で実施した訓練をご紹介します～



R4.6.26 総合訓練（大館公民館）
大館地区自主防災会



R4.9.18 地域の専門学生と協力した訓練（日計生活館）
日計町内自主防災会



R4.10.7 大津波警報想定での徒歩避難訓練
江陽地区自主防災会



R4.10.14 中学生との合同避難所運営訓練
（三条中学校）上長地区自主防災会



R4.10.30 総合訓練（多賀台中央公園）
多賀台連合町内会自主防災会



R4.12.25 避難所運営訓練（長者小学校）
糠塚防災会

※各地域で実施した防災活動の一部を抜粋して掲載しておりますので、ご了承ください。

八戸市自主防災会連絡協議会 加入団体（68団体） R5.3.1現在



理事選出 9ブロック	地区自主防災会
1 北部 ブロック (8団体)	青森ヒューム・長者久保自衛防火隊、多賀地区連合町内会自主防災会、高森自主防災会、多賀台連合町内会自主防災会、多賀台二丁目町内会自主防災会、高屋敷自主防災会、尻引自主防災会、轟木学区連合町内会自主防災会
2 西部 Aブロック (6団体)	しもなが安全安心ネットワーク、アスネットねぎし自主防災会、高館地区連合町内会自主防災会、河原木団地連合町内会自主防災会、八太郎町内会自主防災会、日計町内自主防災会
3 西部 Bブロック (12団体)	鷹ノ巣地区自主防火隊、高岩自主防火班、田面木地区連町自主防災会、根城地区連合町内会自主防災会、松園町地域自主防災会、館地区連合町内会自主防災会、上長地区自主防災会 北白山台自主防災会、白山台連合町内会自主防災会 滝谷町内会自主防災会、永福寺町内自主防災会、八幡町内会自主防災会
4 中央部 Aブロック (8団体)	三八城地区防災会、類家四丁目町内防災会、柏崎地区連合町内会自主防災会、小中野地区自主防災会、江陽地区自主防災会、沼館・城下地区防災会、類家連合町内会自主防災会、長根町内会自主防災会
5 中央部 Bブロック (10団体)	糠塚防災会、中居林地区自主防災協議会、番屋地区自主防災会、是川自主防災会、春日町地域自主防災会、栄町町内会自主防災会、積善町町内会自主防災会、鍛冶町自主防災会、本鍛冶町自主防災会、是川団地町内防災会
6 東部 Aブロック (7団体)	湊高台連合町内会自主防災会、IS(岩淵・塩入)町内自主防災・防犯会、岬台連合町内会自主防災会、白銀地区自主防災会、湊地区連合町内自主防災会、大久保地区自主防災会、白銀台六丁目町内会自主防災会、
7 東部 Bブロック (5団体)	旭ヶ丘町内連合会自主防災会、町畑地区連合町内会自主防災会、花生町内会自主防災・防犯会、中町町内自主防災会、大館地区自主防災会
8 東部 Cブロック (7団体)	白浜町内自主防災会、深久保町内自主防災会、鮫地区自主防災会、法師浜町内自主防災会、大久喜町内会自主防災会、種差・棚久保自主防災会、金浜地区自主防災会
9 南郷 ブロック (5団体)	第四区安全安心自治会、島守あらや地区自主防災会、島守第十区自治会自主防災会、南郷西地区自主防災協議会 島守第十二区自治会自主防災会

令和4年度は、新たに
日計町内自主防災会
が設立されました。



ほっとスルメール（八戸市安全・安心情報メール配信サービス）

避難指示などの緊急情報や気象、火災、防犯、交通安全、消費生活、感染症、ライフライン（電気、ガス、水道）に関する地域の情報を、皆様の携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせします。また、スマートフォン向けのアプリもありますので、未登録の方は、是非ご登録ください。



電子メール登録用QRコード
※読み取り、空メールを送ると登録案内のメールが届きます。



iOSアプリ用
(iPhone)
QRコード



アンドロイド
アプリ用
QRコード

発行先：八戸市自主防災会連絡協議会（事務局：八戸市市民防災部防災危機管理課）
〒031-8686 八戸市内丸1丁目1-1 市庁別館2階
電話番号：0178-43-9225 FAX：0178-45-0099
電子メール：bousai@city.hachinohe.aomori.jp